



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月6日

上場会社名 株式会社メイテック 上場取引所 東  
 コード番号 9744 URL <http://www.meitec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 秀世  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 上村 正人 TEL 03-5413-0131  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	39,300	9.9	3,992	37.3	4,012	36.9	194	△88.6
26年3月期第2四半期	35,754	4.8	2,907	0.5	2,931	△0.5	1,706	0.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 284百万円 (△83.5%) 26年3月期第2四半期 1,722百万円 (3.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.35	—
26年3月期第2四半期	54.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	58,821	36,612	62.2
26年3月期	61,445	36,188	58.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 36,568百万円 26年3月期 36,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	31.50	—	40.50	72.00
27年3月期	—	44.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	57.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 平成27年3月期配当金の内訳 普通配当 81円00銭 記念配当 20円00銭(創業40周年記念配当)

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,400	7.3	8,500	21.8	8,600	23.2	3,400	△14.4	111.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	32,500,000株	26年3月期	32,500,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,945,000株	26年3月期	1,944,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	30,555,245株	26年3月期2Q	31,197,247株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつての注意事項等については、添付資料の6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	7
3. 四半期連結財務諸表 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
4. 参考資料 .....	12
(1) (要約) 四半期個別貸借対照表 .....	12
(2) (要約) 四半期個別損益計算書 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

〔表1〕連結経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	前四半期 連結累計期間	当四半期 連結累計期間	前年同期比増減	
			増減額	増減率
売上高	35,754	39,300	+3,545	+9.9%
売上原価	26,607	29,366	+2,758	+10.4%
販売管理費	6,239	5,941	△297	△4.8%
営業利益	2,907	3,992	+1,084	+37.3%
経常利益	2,931	4,012	+1,080	+36.9%
税金等調整前四半期純利益	2,913	555	△2,357	△80.9%
四半期純利益	1,706	194	△1,511	△88.6%

## ①連結の経営成績

当第2四半期連結累計期間（6ヶ月間：平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、新興国の経済成長鈍化、消費税率引き上げの影響等、先行きは継続して不透明な状況で推移していますが、経済対策、金融政策等の効果から、企業収益の改善などがみられ、景気は緩やかな回復傾向にありました。

かかる状況下、当社の主要顧客である大手製造業各社では、景況に左右されることなく次代を見据えた技術開発投資を持続されていることから、堅調な受注環境の下、稼働人員数は順調に増加しました。これは、4月1日に新卒入社したエンジニア社員（メイテック：378名、メイテックフィールドーズ：173名、計551名）の客先業務への配属が、計画通りに進められたことが主な要因です。

その結果、連結売上高は前年同期比35億45百万円(9.9%)増収の39億300百万円となりました。連結売上原価はエンジニア社員増員による労務費の増加等を主因に前年同期比27億58百万円(10.4%)増加の29億66百万円、連結販売費及び一般管理費は前年同期比2億97百万円(4.8%)減少の59億41百万円となりました。この結果、連結営業利益は前年同期比10億84百万円(37.3%)増益の39億92百万円、連結経常利益は前年同期比10億80百万円(36.9%)増益の40億12百万円となりました。

また、エンジニア社員への教育・研修の質・量に問題は生じないと判断し、老朽化した大型研修施設等の維持費用の負担軽減と将来の費用増加リスクを削減するため、当該施設の利用停止を決定し約35億円の特別損失を計上しました。

以上のことから、連結四半期純利益は前年同期比15億11百万円(88.6%)減益の1億94百万円となりました。

〔表2〕事業セグメント別経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	グループ 連結	派遣事業	紹介事業	エンジニアリング ソリューション事業	連結消去
売上高	39,300	37,546	632	1,359	△238
	100.0%	95.5%	1.6%	3.5%	△0.6%
	+3,545	+3,308	+144	+159	△67
	+9.9%	+9.7%	+29.7%	+13.3%	-
営業利益	3,992	3,788	152	47	3
	100.0%	94.9%	3.8%	1.2%	0.1%
	+1,084	+999	+52	+31	+1
	+37.3%	+35.8%	+52.7%	+194.8%	+36.0%

(注)平成26年5月8日公表の平成26年3月期決算短信に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分を変更し、従来の「グローバル事業」は「紹介事業」に含めております。

なお、前年同期比較は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔表3〕メイテックグループのエンジニア派遣事業の概要

		前四半期累計期間 ／会計期間末	当四半期累計期間 ／会計期間末
MT*1+MF*2+CAE*3	期末エンジニア社員数*1	7,384人	7,909人
MT*1+MF*2	期末エンジニア社員数*1	7,294人	7,815人
	稼働率(全体)	92.7%	93.8%
	稼働率(新入社員等*2を除く)	96.4%	97.2%
	稼働時間	8.89h/day	8.90h/day
MT*1	期末エンジニア社員数*1	5,851人	6,209人
	期末社内派遣従事者数(外数)*1	61人	59人
	稼働率(全体)	92.8%	93.9%
	稼働率(新入社員等*2を除く)	96.1%	96.9%
	稼働時間	8.89h/day	8.90h/day
MF*2	期末エンジニア社員数	1,443人	1,606人
	稼働率(全体)	91.9%	93.4%
	稼働率(新入社員等*2を除く)	97.6%	98.3%
	稼働時間	8.97h/day	8.99h/day
CAE*3	期末エンジニア社員数	90人	94人

\*1：(株)メイテック、\*2：(株)メイテックフィルダーズ、\*3：(株)メイテックCAE

〔表3〕の注記

※1：(株)メイテックのエンジニア社員数は、未稼働エンジニアへの社内研修講師等の社内技術業務に従事している社内派遣従事者を、間接人員として控除しています

※2：入社後未配属のエンジニアを控除しています

ご参考：月次の稼働率実績等は、次のURLからご覧頂けます

(当社HP) [http://www.meitec.co.jp/ir/financial\\_performance.html](http://www.meitec.co.jp/ir/financial_performance.html)

## ② 事業セグメント別の経営成績

### (ア) 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働人員数の増加を主因に、売上高は前年同期比33億8百万円(9.7%)増収の375億46百万円、営業利益は前年同期比9億99百万円(35.8%)増益の37億88百万円となりました。

当社単体の稼働率(全体)は、今年4月に入社した378名の新卒エンジニア社員の客先業務への配属が順調に進んだほか、既存のエンジニア社員においても客先業務への配属が順調であったことから、93.9%(前年同期92.8%)と、高い水準で推移しました。

なお、稼働時間については8.90h/day(前年同期8.89h/day)と安定して推移しました。

### (イ) 紹介事業

紹介事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

紹介事業の売上高は、前年同期比1億44百万円(29.7%)増収の6億32百万円、営業利益は前年同期比52百万円(52.7%)増益の1億52百万円となりました。

株式会社メイテックネクストは、紹介決定数が引き続き増加し、増収増益となりました。

### (ウ) エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業は、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業の売上高は、前年同期比1億59百万円(13.3%)増収の13億59百万円、営業利益は、前年同期比31百万円(194.8%)増益の47百万円となりました。

## (株)メイテック(9744) 平成27年3月期第2四半期決算短信

株式会社メイテックCAEは受注案件の回復等により増収増益となりました。アポロ技研グループは増収ですが、営業損失が続いています。これは中国子会社の清算開始に伴う損失であり、アポロ技研単体は前年同期の赤字から営業黒字に転じました。

なお、当社はCAE技術を通じてグループのエンジニア派遣事業の付加価値を高めることを目的として、株式会社メイテックCAEを、平成26年10月1日付で吸収合併しました。

〔表4〕グループ各社別経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	派遣事業				紹介事業			エンジニアリングソリューション事業	
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer. jp	メイテック 上海 他	メイテック CAE	アポロ技研 グループ
売上高	30,682	5,753	1,235	25	536	54	44	622	737
前年同期比増減額	+2,531	+716	+16	+25	+88	+49	+13	+116	+43
前年同期比増減率	+9.0%	+14.2%	+1.4%	-	+19.8%	-	+44.6%	+22.9%	+6.2%
営業利益	3,265	486	44	△15	180	7	△46	61	△14
前年同期比増減額	+873	+135	△10	+1	+11	+26	+0	+18	+12
前年同期比増減率	+36.5%	+38.8%	△19.6%	-	+6.5%	-	-	+41.6%	-
経常利益	3,697	486	45	△15	180	8	△43	62	△13
前年同期比増減額	+905	+135	△10	+1	+11	+27	+3	+18	+18
前年同期比増減率	+32.4%	+38.4%	△19.1%	-	+6.5%	-	-	+42.2%	-
四半期純利益	172	297	27	△15	116	7	△43	41	△33
前年同期比増減額	△1,572	+79	△7	+1	+1	+26	+3	+14	△11
前年同期比増減率	△90.1%	+36.6%	△21.1%	-	+1.5%	-	-	+54.0%	-

## (2) 財政状態に関する説明

〔表5〕連結財政状態の概要

(百万円未満切捨て)		前連結 会計年度末	当四半期 連結会計期間末	増減率	
				増減額	増減率
資産合計	流動資産合計	44,998	46,427	+1,429	+3.2%
	固定資産合計	16,447	12,393	△4,053	△24.6%
	資産合計	61,445	58,821	△2,624	△4.3%
負債合計	流動負債合計	12,589	11,351	△1,237	△9.8%
	固定負債合計	12,667	10,857	△1,810	△14.3%
	負債合計	25,257	22,209	△3,048	△12.1%
純資産合計	株主資本合計	38,299	38,401	+101	+0.3%
	その他の包括利益累計額	△2,157	△1,833	+323	—
	少数株主持分	46	44	△1	△3.4%
純資産合計	36,188	36,612	+424	+1.2%	
負債純資産合計	61,445	58,821	△2,624	△4.3%	

## ①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)の資産合計は、前連結会計年度末(平成26年3月31日)比で26億24百万円減少し、588億21百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で14億29百万円増加し、固定資産が前連結会計年度末比で40億53百万円の減少となった事が要因です。

なお、流動資産の増加は預金や売掛金の増加などが主因であり、固定資産の減少は大型研修施設等の減損損失などが主因です。

## ②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で30億48百万円減少し、222億9百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で12億37百万円減少し、固定負債が前連結会計年度末比で18億10百万円減少した事が要因です。

なお、流動負債の減少は未払法人税等の納付による減少などが主因であり、固定負債の減少は会計方針の変更に伴う退職給付に係る負債の減少などが主因です。

## ③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で4億24百万円増加し、366億12百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による利益剰余金の増加、配当金の支払による利益剰余金の減少、及び退職給付に係る会計方針の変更に伴う利益剰余金の増加などの影響が相殺された事などが主因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① 業績予想

堅調な受注環境の持続を前提に、エンジニア派遣事業における主要指標を足元の動向も踏まえて修正し、平成26年5月8日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたします。なお、当期純利益予想は期初予想から15億円の下修正となりますが、上半期(第2四半期累計)実績が期初予想比で約18億円の不振れに対して、下半期(第3+第4四半期)予想は期初予想比で約3億円の上振れ見込みです。

〔表6〕平成27年3月期の通期連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	79,000	7,700	7,700	4,900
今回発表予想(B)	80,400	8,500	8,600	3,400
増減額(B-A)	+1,400	+800	+900	△1,500
増減率(%)	+1.8%	+10.4%	+11.7%	△30.6%

〔表7〕平成27年3月期の通期個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	61,500	6,300	6,700	4,400
今回発表予想(B)	63,600	7,100	7,600	3,300
増減額(B-A)	+2,100	+800	+900	△1,100
増減率(%)	+3.4%	+12.7%	+13.4%	△25.0%

〔表8〕平成27年3月期業績予想の前提とする主要指標

	株メイテック		株メイテックフィルダーズ	
	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表
稼働率(全体)	95.4%	94.8%	94.9%	93.3%
上半期	93.9%	93.2%	93.4%	90.4%
下半期	96.9%	96.3%	96.4%	96.2%
稼働時間	8.93h/day	8.90h/day	9.03h/day	8.99h/day
新卒採用※	378人	378人	173人	173人
中途採用	200人	230人	115人	125人
退職率	4.3%	5.0%	9.1%	8.6%

※平成26年4月1日付の新卒入社エンジニア社員数

## ② 配当予想

通期業績予想を修正しましたが、期末配当の予想は修正しません。詳細は下記の補足説明をご覧ください。

なお、利益配分に関する基本方針につきましては、平成26年5月8日公表の平成26年3月期決算短信並びに弊社ホームページに掲載しているIR説明会資料などをご参照下さい。

## ③ 自己株式の取得予定

通期の連結当期純利益予想を期初予想比15億円下方修正したことから、総還元性向を勘案し、自己株式取得予定額を平成26年5月8日に公表した24億円から9億円(△15億円)へ修正いたします。

## ※補足説明

当年度の利益配分は期初に公表した通り、基本方針に則した総還元性向100%以内の「普通配当と自己株式取得」に加えて、「創業40周年記念配当」を実施する予定です。連結当期純利益予想を下方に修正した影響は、自己株式取得額のみを修正し、配当予想は修正しません。

\* 総還元性向100% = (普通配当25億円弱 + 自己株式取得額9億円) ÷ (連結当期純利益予想34億円)

→記念配当を含む配当総額見込は約31億円です。



ご注意 本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2,138百万円減少し、利益剰余金が1,379百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,104,230	30,719,507
受取手形及び売掛金	11,297,348	11,680,282
仕掛品	243,102	505,073
その他	3,360,467	3,529,912
貸倒引当金	△6,441	△6,794
流動資産合計	44,998,707	46,427,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,600,141	4,145,938
その他(純額)	3,955,297	3,187,526
有形固定資産合計	10,555,438	7,333,465
無形固定資産		
その他	672,855	652,558
無形固定資産合計	672,855	652,558
投資その他の資産		
その他	5,246,352	4,434,577
貸倒引当金	△27,577	△26,909
投資その他の資産合計	5,218,774	4,407,667
固定資産合計	16,447,068	12,393,691
資産合計	61,445,775	58,821,673
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	97,672	93,446
未払法人税等	2,679,243	374,108
役員賞与引当金	85,000	10,122
賞与引当金	5,314,401	5,174,106
関係会社整理損失引当金	70,818	35,552
その他	4,342,521	5,664,469
流動負債合計	12,589,657	11,351,806
固定負債		
退職給付に係る負債	12,619,887	10,836,533
その他	47,661	20,733
固定負債合計	12,667,548	10,857,267
負債合計	25,257,206	22,209,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	8,054,223	8,054,223
利益剰余金	18,264,262	18,367,666
自己株式	△4,844,452	△4,845,989
株主資本合計	38,299,915	38,401,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,041	6,732
土地再評価差額金	△878,313	△646,046
為替換算調整勘定	△6,905	△11,086
退職給付に係る調整累計額	△1,275,200	△1,183,242
その他の包括利益累計額合計	△2,157,377	△1,833,642
少数株主持分	46,031	44,460
純資産合計	36,188,569	36,612,599
負債純資産合計	61,445,775	58,821,673

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	35,754,847	39,300,843
売上原価	26,607,914	29,366,583
売上総利益	9,146,932	9,934,260
販売費及び一般管理費	6,239,152	5,941,781
営業利益	2,907,779	3,992,478
営業外収益		
受取利息	3,277	3,202
受取配当金	624	795
その他	29,563	20,024
営業外収益合計	33,465	24,021
営業外費用		
コミットメントフィー	2,419	2,293
為替差損	3,960	—
その他	3,094	1,562
営業外費用合計	9,474	3,856
経常利益	2,931,770	4,012,644
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	7,550
特別利益合計	—	7,550
特別損失		
減損損失	5,137	3,463,539
その他	13,246	950
特別損失合計	18,384	3,464,490
税金等調整前四半期純利益	2,913,385	555,704
法人税等	1,209,454	362,926
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703,931	192,777
少数株主損失(△)	△2,076	△1,345
四半期純利益	1,706,007	194,123

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703,931	192,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,422	3,690
為替換算調整勘定	20,275	△4,406
退職給付に係る調整額	—	91,958
その他の包括利益合計	18,853	91,242
四半期包括利益	1,722,784	284,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,723,808	285,591
少数株主に係る四半期包括利益	△1,023	△1,571

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 参考資料

## (1) (要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,930,904	27,027,828
売掛金	9,082,956	9,280,046
仕掛品	188,057	388,426
その他	2,853,577	3,040,329
貸倒引当金	△1,848	△1,885
流動資産合計	41,053,647	39,734,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,595,087	4,141,912
その他	3,938,585	3,169,302
有形固定資産合計	10,533,673	7,311,215
無形固定資産		
その他	617,760	586,815
無形固定資産合計	617,760	586,815
投資その他の資産		
その他	6,257,614	5,501,810
貸倒引当金	△12,173	△12,173
投資その他の資産合計	6,245,441	5,489,637
固定資産合計	17,396,875	13,387,668
資産合計	58,450,522	53,122,413
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	2,246,797	65,724
役員賞与引当金	81,000	4,000
賞与引当金	4,206,504	4,064,332
その他	6,175,782	4,618,028
流動負債合計	12,710,084	8,752,085
固定負債		
退職給付引当金	10,620,299	8,981,351
投資損失引当金	84,008	75,749
その他	44,599	5,452
固定負債合計	10,748,907	9,062,553
負債合計	23,458,991	17,814,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	8,054,223	8,054,223
利益剰余金	15,831,149	15,912,972
自己株式	△4,844,452	△4,845,989
株主資本合計	35,866,802	35,947,088
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,041	6,732
土地再評価差額金	△878,313	△646,046
評価・換算差額等合計	△875,271	△639,313
純資産合計	34,991,530	35,307,774
負債純資産合計	58,450,522	53,122,413

## (株)メイテック(9744) 平成27年3月期第2四半期決算短信

## (2) (要約) 四半期個別損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	28,150,575	30,682,374
売上原価	21,094,269	23,091,553
売上総利益	7,056,306	7,590,820
販売費及び一般管理費	4,664,100	4,325,030
営業利益	2,392,205	3,265,790
営業外収益		
受取利息	3,530	3,794
受取配当金	355,654	408,620
その他	44,732	22,667
営業外収益合計	403,916	435,081
営業外費用		
支払利息	396	326
コミットメントフィー	2,419	2,293
その他	1,549	927
営業外費用合計	4,365	3,548
経常利益	2,791,756	3,697,324
特別利益		
投資損失引当金戻入額	—	8,258
特別利益合計	—	8,258
特別損失		
減損損失	5,137	3,462,771
投資損失引当金繰入額	24,961	—
その他	13,212	718
特別損失合計	43,312	3,463,490
税引前四半期純利益	2,748,444	242,092
法人税等	1,003,234	69,549
四半期純利益	1,745,209	172,542